

前略

この度は、大変お世話になりました。

約一年間 アドバイスをいただき、息子は登校できるようになりました。

始まりは息子が中学一年生の時、夏休み明けから登校できなくなりました。

元々口数が少なく反抗期の息子は、より心を閉ざし

自信や存在意義まで失っている様子だったので、しばらくは目を離すのが安心しかつたのを覚えています。

「不登校」「発達障害」「ひきこもり」などと検索したり本を探すようになりました。

学校のカウンセラーにも精神科医にも「今は休みが必要、慌てることはない、息子さんがやりたい事を見つくるまで待ちましょう」と言われました。

私は納得し、そのまま一年が過ぎました。

息子はゲームや動画に依存し、昼夜逆転する日もありま
した。が、楽しいように過ごしていたので、私は特に気にせず過ごし
ていました。しかし夫は長引く不登校に危機を感じ、御社
を探し当て助けを求めました。辻先生と出会い、今のまま
ではダメだ、親の声かけの仕方や親子関係の修復が必要なんだ
と、わかりました。

いただいたアドバイスを実行するのは、最初はとても難しく
何度も葛藤し、夫婦で話し合い模索する毎日でした。

息子に厳しい言葉をかける役目の夫は大変だったと思ひ
ますが、その都度辻先生のアドバイスをいただき心強かったよう
です。

少しずつ息子が、訴えや自分の意見や本音の気持ち持ちを口に
し始めた時は驚き嬉しかったのを覚えています。

息子なりに模索していたので、半年後の四月から心を決め
たように登校し始めました。

久しぶりの制服で出かけていく後々後ろ姿は忘れられません。
体育祭や文化祭、授業参観で生き生きとした様子も見られ
涙が出ました。

辛そうにしている朝もあります。自分と戦ってちゃんと毎日
行っています。

この先もきっと、困難にぶつかることがたくさんあることでしょう。
その時に本音を出せる環境づくり、逃げずに頑張るそ
と思える声かけを先生から学んだつもりです。

息子を助けていただいただけでは、我々夫婦にたくさん
大切な事を教えてくださいました。

本当にありがとうございました。
草々